Webサイトのユーザ経験(UX)設計 方法の提案

南山大学 情報理工学部ソフトウェア工学科 2009SE087 伊藤 まどか 2009SE172 桃山 みなみ 指導教員 青山 幹雄

発表のシナリオ

- ・中間発表のまとめ
- アプローチ
- 中間発表の質問
- 優先順位付け
- 実施するWebサイト
- 今後の方針

中間発表にまとめ

課題

UX(UserExperience)を向上させるユーザ理解 を考慮した設計手法がない

提案

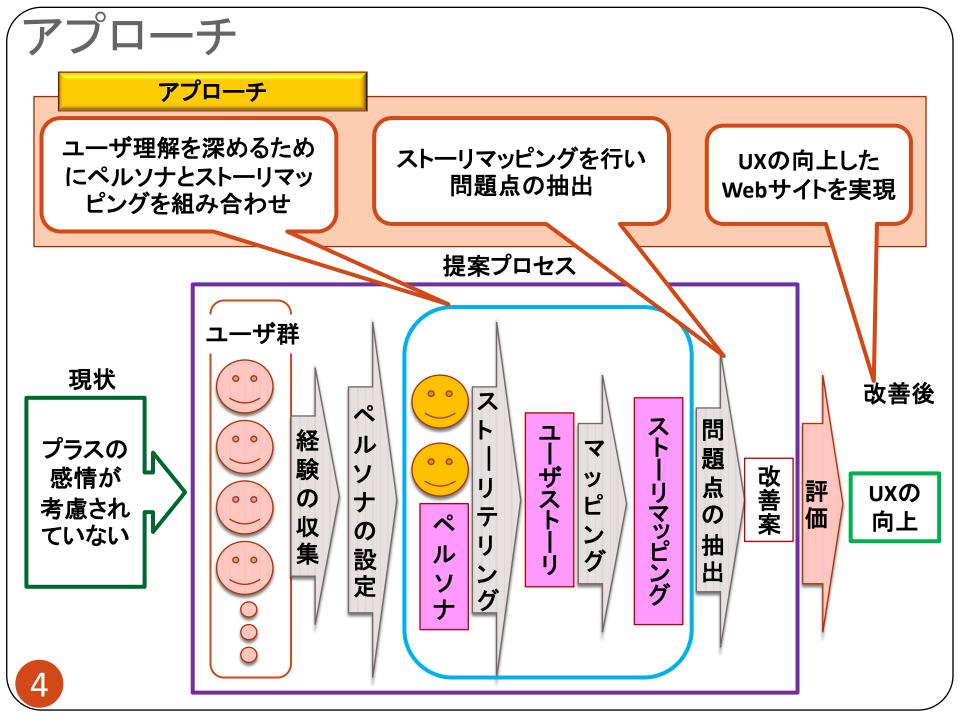
- ペルソナとストーリマッピングを組み合わせる
- UXを向上させるWebサイト改善方法の提案

アプローチ

- ユーザ理解を深めるためにペルソナとストーリマッピングを組み合わせ
- ストーリマッピングを行い問題点の抽出

今後の課題

- 優先順位付けの詳細設定
- 提案方法に沿って適用し有用性を評価



中間発表の質問に対して

•方法自体の優位性かWebページに適用したら有用性があったのか

→Webページに適用した際の有用性について

•統合技術で本質的に達成できない

→主観を全て排除できない

•統合技術の有用性

→ストーリを用いてユーザの共感を得る ストーリマッピングを用いて全体を見る

優先順位付け

ペルソナの優先度の基準

▶困っている人を優先 それを定義できるアンケート項目を考える

問題点優先度

- ▶アンケートの結果から数基準
- ▶計数法の利用

計数法とは

- ・ 結果の数を数える (各質問に対する全ての回答の値を数える)
- 基本的な回答データから傾向を明確にする

実施するWebサイト

適用を行うことが可能なWebサイトを選択

- •南山大学学生用事務システムPORTA
- •授業登録の部分のみ



2011年11月7日より、新しい学生用事務システムが稼働しました。 新たに、システムの入り口としてポータルシステムを導入し、その名 称を「PORTA」(ポルタ)と名付けました。携帯版もリニューアルしました。

今後の方針

PORTAでの適用と評価

- アンケート調査 PORTAユーザへのアンケートを実施し、ユーザ経験 を収集
- ペルソナの設定 アンケートからペルソナを設定
- ストーリの作成アンケートからストーリ作成

Webサイトのユーザ経験(UX)設計 方法の提案

END